

MCPC モバイルデバイスの積極的な利活用における 個人情報保護法の影響調査結果のお知らせ

ビジネスユーザーを対象にセキュリティポリシーのモバイルコンピューティングへの束縛意識・生産性に対する影響を調査した結果、運用性と安全性を両立させるソリューションへのニーズが高いことが判明。

MCPC（モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、会長：安田靖彦）は、ノートPCや携帯電話・スマートフォンを業務に活用しているビジネスユーザーを対象として、モバイル機器の使用状況やネットワークの利用状況と将来へのニーズに関する調査を実施し、その調査結果ならびに分析結果をまとめましたので、お知らせいたします。

1. 調査の背景

移動体通信サービスの高速化、エリアのシームレス化、ならびにモバイルデバイス（ノートPC、タブレット、スマートフォン等）の進歩が着実に進展しております。一方、モバイルデバイスの業務利用に関しては、BYOD等の自由な利用形態がみられる一方、移動業務での利用が忌諱される例が散見されている。

2. 調査の概要

- (1) 調査期間：2014年5月20日～5月22日
- (2) 調査方法：インターネット調査
- (3) 有効回答数：522名

登録上の属性情報の所属部門が以下に該当する、現在もフルタイムの仕事をしている者に配信し、回答を得た。

- ・経営全般/経営企画
- ・宣伝/広報
- ・販売/営業
- ・保守/サポート

3. 調査結果の概要

(1) 総論：過剰なセキュリティポリシーは生産性の低下や負担意識の増加を招く。

- ① 個人情報取扱ルールは従業員の多いケースほど厳密な一方、中小規模では野放しのケースも：
 - ・個人情報取扱に関するは従業員数の多い企業ほど厳密化。
 - ・従業員数299人以下のケースでは約1/4が「何もない」と回答。
- ② 個人情報取扱ルールの個数が増えると業務の負担感も増す傾向：
 - ・個人情報取扱ルールの個数が増えると業務の負担感も増す傾向にあり、個数が「9～16個」のケースでは約2割が「(ルールが)大変負担になっている」と回答。

③ 厳しすぎるガイドラインはモバイルコンピューティングの阻害要因となっており、リスク要因の根本的排除にはつながっていない可能性も:

- ・モバイルコンピューティングガイドラインの個数が増えるにつれ、ノートPCの持ち出しへのわずらわしさが強まり、持ち出し断念のケースも増加する傾向にある。
- ・特に、ガイドラインの個数が多いケースでは生産性の低下を指摘する声が強まる。
- ・他方、ノートPCの社外持ち出しが禁止されているケースでは、別デバイスでの代替や紙による情報持ち出しなど、セキュリティリスクが根本的には解決されていない現状が明らかとなった。

④ ローカルへのデータ保存が現状は中心だが、クラウドなどよりセキュアな保存先を望む声強い

- ・個人情報の現状の保存先はノートPCなどの「モバイルデバイスにそのまま保存」および「ノートPCなどのモバイルデバイスに暗号化して保存」といったローカルへの保存が中心である。
- ・望ましい保存先としては、クラウドや社内サーバー(VPN接続)など、外部も含めたよりセキュアな保存先を望む声が多い。

(2)付論:

① 中小規模企業の状況

- 従業員数299人以下の中小規模企業では、プライバシーマークの取得も含め、個人情報管理に関わる規定管理に問題があるケースが少なくない。
- 従業員数が少ない企業ほど、私物のノートPCを社外利用するケースが増え、潜在的リスクが高まる。
- また、従業員数が少ない企業ほど、モバイルコンピューティングに関するガイドラインも不徹底なケースが増加する傾向にある。
- 特に、従業員数299人以下のケースでは半数近くが個人情報をノートPCなどのモバイルデバイスのローカルに暗号化などの処理をせずに保存しており、紛失などの過失による個人情報の漏洩が懸念される。

② モバイルコンピューティングの現状とニーズ

- 社外でのモバイルコンピューティングでは、メールのやりとりや情報収集、プレゼンテーションなどが現状では多く、実現してみたい業務としては電子会議が一定の割合で見られる。
- サテライトワークのメリットとしては、移動に伴う時間や費用の削減や業務そのものの効率化を挙げる声が多い。
- また、その実現のためには、社外での高速ネットワークの整備や仮想デスクトップなどを望む声が見られた。

4. 調査報告書等の目次と公開について

本調査報告書および集計データについての公開(Web)はMCPC会員のみとさせていただきます。

「モバイルデバイスの積極的な利活用における個人情報保護法の影響調査報告書」:目次

I 調査概要

II 調査結果

1. 回答者の立場・所属部門
2. プライバシーマーク取得の有無
3. 個人情報業務利用の有無
4. 回答者の業種
5. 回答者の勤務先の従業員規模
6. 個人情報取扱社内規定の有無
7. 個人情報管理体制について
8. 個人情報管理部門
9. 取り扱っている個人情報

10. 個人情報管理の運用
11. 個人情報管理の束縛レベル[生産性]
12. モバイルデバイスの支給状況
13. 回答者の社外でのモバイルコンピューティング状況
14. 回答者の同僚の社外でのモバイルコンピューティング状況
15. 回答者の社外でのモバイルコンピューティング業務(現状)
16. 回答者の社外でのモバイルコンピューティング業務(実現希望)
17. 回答者の社外ノートPC持ち出し
18. ノートPCの持ち出しの手間
19. ノートPCによる業務効率への影響
20. 持ち出しの手間などによるモバイルコンピューティングの断念
21. 回答者の社外でのモバイルコンピューティング比率
22. 社外使用禁止時の代替手段
23. モバイルコンピューティングに関するガイドラインの内容
24. ガイドラインの束縛レベル
25. 個人情報社外業務利用の有無
26. 個人情報社外業務取扱時の希望形態
27. サテライトワークのメリット
28. モバイルワーカーへのサポート

III 自由回答

IV 調査票

【MCPCについて】

MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 会長:安田靖彦)は、業界を超えたモバイルコンピューティングの普及促進団体として1997年に発足いたしました。端末インターフェースガイドライン及びBluetooth など多数の標準化作業をはじめ、「セキュリティ対策ガイド」発行、「MCPCモバイルソリューションフェア」開催、「モバイルシステム技術検定」実施などを通して、モバイル市場の拡大に貢献しております。

MCPC加盟企業 160社 (2008年5月14日現在)

[本件に対する問合せ先]

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC) 事務局

所在地 : 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 芝公園真田ビル2F

TEL : 03-5401-1935 FAX : 03-5401-1937

URL : <http://www.mcpc-jp.org/> E-mail: office@mcpc-jp.org